

東栄倉庫（中央区清新）は、物流倉庫サービスや法人向け認定トランクルーム、不動産賃貸、人材派遣などを手掛けています。倉庫業務をメインに、創業以来50年以上にわたって地域に軸足を置いたサービスを展開、物流サービスを続けてきました。同社は倉庫設備や機械の省エネ化、従業員の健康や安全にも配慮。大小さまざまな荷物を取り扱い“小回りがきくサービス”を売りにしています。デジタル化や脱炭素化が進み、外部環境が変化する中で、どのような経営の舵取りをするのでしょうか。横倉亨社長に戦略を聞きました。

— 御社の事業内容について教えてください。

「物流倉庫では、主にメーカーさまのお荷物をお預かりし、ご依頼に応じて全国発送の手配を行うサービスを提供しています。また、主に企業のお客さま向けにトランクルームも展開、自前の倉庫が必要なお客さま向けには、不動産業者から借り上げた倉庫をご紹介するサブリース事業も手掛けています。さらに、当社では自社開発システムを活用し、入庫から仕分け、検品、梱包、保管、出庫までを行う流通加工サービスも行っているのが特長です」

— 御社の強みはどこにあるのでしょうか。

「小回りがきくことを、昔から売りにしています。例えば、パレット数枚分といった細かい荷物にも対応しています。坪数でいうと、5坪程度のスペースでの保管も可能です。そのため、当社では地元のお客さまからの要望に応えるため、2トナも用意しています」

「また、社会のデジタル化がいくら進んだとしても、最終的には人が再梱包したり、ラベルを貼ったりするアナログの作業は残ります。さらにA、B、Cという3つの箱から、特定の商品だけを抜き

地元密着で小回りがきく 物流サービスを提供

出してDという箱に詰め替えるような作業にも、人手が必要です。こうした細かい要望に応えられるのが、当社の強みだと考えます」

— 物流倉庫サービスではどのような荷物を扱っていますか。

「食品原料や通販用自転車などを預かって運送業者に渡す一方で、消費者からの日用品などの返品に対応する『静脈物流』も扱っています。昔は家電製品などを主に手掛け、取引先も数社でしたが、

現在は荷物も大小さまざまで、百数十社に上ります。当社の取引先の約半分は地元です」



東栄倉庫(株)
代表取締役社長 横倉 亨さん

「最近では大型物流センターも増えてきましたし、『大型施設の運営をやりませんか』と、お誘いをいただくこともあります。ただ、当社はご近所とのお付き合いを大切に、細かい要望にもお応えできるといふ点を重視しています。これからも規模を追い求めるのではなく、身の丈にあった仕事をしていきたいです」

— 環境問題や安全への取り組み状況はいかがですか。

「省エネ推進企業として環境活動方針

を整備しています。具体的には、LED照明の全社導入をはじめとして、省エネと温暖化ガス削減に積極的に取り組んでいます。物流倉庫で使用しているフォークリフトについては、ガソリン式からプロパン（LPガス）式に替え、屋内など一部ではバッテリー（電動）式も導入しています。倉庫事業の一环として関わったバイオマス発電用のウッドチップ事業は、一事業部門から『ウッドチップサービス株式会社』として大きく成長しました」

「従業員の健康や働きがいについては、従業員からの要望を受け、倉庫での作業における暑さ対策用のインナーや、ファン付き作業着を導入しています。安全面ではちょっとした油断がミスにつながることもありますので、ヒヤリ・ハット事象が起きたときは、その都度、現場のリーダーを中心に現場で問題点を共有しています」